

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	5	空家等対策事業		
担当課	定住促進課		担当係	定住促進係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	1. 自然+idea	(1) 土地利用		① 住みたいまち基山の創造(定住人口・人口増対策)
事業の概要	基山町空家等対策協議会において、空家等への総合的な対策を協議し、倒壊の恐れのある危険な空家への適切な対応を行うとともに、利活用できる空家については、空家の所有者と利用希望者とのマッチングを行い定住促進につなげる。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基山町空家等対策協議会の開催(2回)、不良住宅除却に伴う測定審査会(1回)</li> <li>・不良住宅の除却(2棟)、空家における家財処分等費用補助金交付(1件)</li> <li>・町内空家等の全棟調査(区長及び定住促進課担当者による調査)</li> <li>・町ホームページにおける空家バンク制度(すまいるナビ)の運営</li> <li>・固定資産納税通知書に空家バンク制度(すまいるナビ)説明のリーフレットを同封</li> </ul>				
業務開始年度	平成28年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	6,368	千円	5,682	千円
内 補助金等	2,732	千円	2,732	千円

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空家対策協議会を開催し、空家の適正な管理などに関する対応協議を行い、空家の所有者に対して適正な管理についての指導を行うことができた。</li> <li>・不良住宅の除却を2棟実施するとともに、空家における家財処分等費用補助金を1件交付し、空家の利活用促進を図ることができた。</li> </ul>
事業の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空家の活用は、所有者の空家活用に対する理解が必要であるため、空家所有者アンケートをはじめとして、町ホームページや広報等でさらなる制度の周知を行い、空家の除却及び利活用の理解促進を行う必要がある。</li> <li>・空家の活用において、相続の整理が課題となっているケースが多くなってきている。空家所有者アンケートを通じて、空家所有者の意向を把握し、空家の活用に向けてきめ細やかな対応を行う必要がある。</li> </ul>

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針(課題に対する改善等)	<b>【第1次評価・第2次評価】</b> 平成30年度から令和4年度までの5年間ですまいるナビによる成約実績は7件、不良住宅除去費補助金は10件、並びに令和2年度から実施している家財処分等費用補助金の交付実績は7件となった。町内に存在する空家は良質な空家が多数存在しており、今後は移住地及び町内での住み替えの受け皿として、空家の活用を検討する必要がある。については空家の活用に対する家屋所有者の意向を把握し、理解促進を図るとともに、空家活用を含む各種住宅施策を包括的に整備する手法を検討する。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	14	都市計画マスタープラン改訂		
担当課	定住促進課		担当係	都市計画係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	1. 自然+idea	(1) 土地利用		③ 積極的な土地開発
事業の概要	平成18年に策定した「基山町都市計画マスタープラン」の見直しを行い、地の利を活かした産業・環境の形成と基山町の特性に応じたコンパクトなまちづくりを計画的に進める。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
令和3年度からマスタープランの見直しを行い、令和4年度にはパブリックコメント、住民説明会、計画案のパネル展示を実施した。計画の改訂にあたっては都市計画審議会専門部会・都市計画マスタープラン検討委員会を開催し、また議会からの要望で令和5年1月に議会勉強会を開催し、計画についてご意見をいただき、令和5年3月22日付けで改訂版都市計画マスタープランを公表した。				
業務開始年度	令和3年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	5,000 千円		3,944 千円	
	内 補助金等	0 千円		0 千円

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	本計画の策定をとおり、町内における土地利用・交通体系など部門ごとの具体的な方針を整理した。特に、土地利用の方針に関しては、①人口を受け止める質の高い居住空間の確保(新市街地エリア)②広域的役割に応えるための産業拠点の充実(産業振興エリア)③新しい農業の魅力づくり(6次産業推進エリア)を新たに設け、地域全体のポテンシャル向上に努めることとしている。加えてまちづくりの地域別方針を作成し、地域ごとの具体的な目標やまちづくりの方針についても整理することができた。
事業の課題・問題点	都市計画マスタープランは概ね20年後の将来のまちの姿を描いたものであり、概ね10年を目途に、必要に応じて見直しを行うこととしているが、社会情勢の変化に合わせて随時見直しが必要になることがある。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	完了	第2次評価	完了
今後の取組方針(課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 将来の社会経済情勢や都市構造の変化を的確に把握し、上位計画等の動向を踏まえながら、計画の進捗管理を行っていく。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	16	市街化調整区域における容積率の見直し		
担当課	定住促進課		担当係	都市計画係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	1. 自然+idea	(1) 土地利用		③ 積極的な土地開発
事業の概要	町内の産業の動向及びそれに必要な都市的土地利用の需要を踏まえて、市街化調整区域における容積率の見直しを行う。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
令和3年度から佐賀県建築住宅課と市街化調整区域における容積率の見直しについて協議を始め、複数回の協議の結果、令和5年3月に、県道久留米基山筑紫野線以東及び基山グリーンパーク周辺の市街化調整区域における容積率の数値を100%から200%に緩和することで、佐賀県都市計画審議会の承認を受けた。				
業務開始年度	令和3年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	0	千円	0	千円
	内 補助金等	0	千円	0

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	容積率の数値が200%に緩和された地域においては、これまでより高層の建築物が建築できるようになるため、地区計画等で創出した産業用地において、企業誘致の促進が期待される。
事業の課題・問題点	市街化調整区域は、無秩序な市街地の拡大及び都市機能の拡散を抑制すべき地域という考え方があるため、産業用地の確保にあたっては、都市計画マスタープランで定めている土地利用方針に基づき計画的に行っていく必要がある。また、容積率200%と変更にはなったが、周辺の環境、景観との調和を考慮し、案件ごとに建物の高さ等を検討する必要がある。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	完了	第2次評価	完了
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 都市計画マスタープラン、立地適正化計画など土地利用に関わる計画と整合性を図りながら、市街化調整区域における産業用地の確保を計画的に進めていく。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	24	実松川河川改修事業		
担当課	建設課		担当係	整備・管理係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	1. 自然+idea	(2) まちなみ環境		② 自然と身近にふれあえる基山づくり
事業の概要	県が実施する実松川河川改修事業について、円滑に事業を推進するため、町も地元住民調整等を行う。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
実松川河川改修工事1工区(L=400m)は令和4年度に佐賀県東部土木事務所発注によるリバー橋より上流に向けて護岸工事を約120m施工を行った。				
業務開始年度	令和4年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	0	千円	0	千円
内 補助金等	0	千円	0	千円

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	秋光川と合流する所から約140mの実松川護岸改修が行われたことにより河川の流れが良好となった。
事業の課題・問題点	1工区完了予定が令和8年(R5.11.現在の見込み)となるため未改修河川の越水が懸念される。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 1工区の早期完了要望及び豪雨時の対策について佐賀東部土木事務所へ要望し、基山町による雨期前点検やパトロールを行い住民の安全に留意することが必要である。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	30	排水処理方法の指導・河川水水質検査事業		
担当課	まちづくり課	担当係	環境対策室生活環境係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	1. 自然+idea	(2) まちなみ環境	③ 協働による環境美化の推進	
事業の概要	特定工場の水質検査を年4回実施し、適正値を上回った場合には、改善指導を行う。また、河川水についても年4回10か所の調査を実施する。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
特定工場9社と環境保全協定を締結し、事業所排水の水質検査を4回実施した。検査結果で法令基準値は満たしているものの環境保全協定基準値を超えていた事業所は3事業所あり、計7回の指導を行った。また、河川は、4河川の10箇所を年4回検査し、2箇所で、Phと大腸菌群数が1回づつ基準超過した。				
業務開始年度	平成9年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	854	千円	458	千円
	内 補助金等	0	千円	0

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	事業所排水を実施することで、事業所も協定基準を満たした排水に努め、水環境の保全に繋がっている。
事業の課題・問題点	環境保全協定基準を超過した事業所では、排水処理施設に多額の費用が発生するため、設備更新ができない。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針(課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 継続して、事業所排水検査を実施することで、水環境の保全に取り組む。環境保全協定基準を超過した事業所には、継続して指導を行っていく。			

## 令和4年度事務事業評価シート

### 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	31	騒音等の調査実施		
担当課	まちづくり課	担当係	環境対策室生活環境係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	1. 自然+idea	(2) まちなみ環境	③ 協働による環境美化の推進	
事業の概要	騒音・振動検査を年1回及び大気汚染測定検査を年4回実施する。			

### 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
令和4年度は、大気汚染測定検査を町内5カ所を4回実施した。測定結果は、環境基準値を以下で環境基準を満たしている結果となっている。				
業務開始年度	平成12年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	132	千円	94	千円
内 補助金等	0	千円	0	千円

### 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	町内5カ所で、年4回、ガスバック方式により窒素酸化物を測定し、環境基準を満たしている。 窒素酸化物は、物が高い温度で燃えたときに、空気中の窒素(N)と酸素(O2)が結びついて発生する、一酸化窒素(NO)と二酸化窒素(NO2)などのことをいう。特に二酸化窒素(NO2)は、高濃度で人の呼吸器(のど、気管、肺など)に悪い影響を与えるので、国では二酸化窒素(NO2)に関する環境基準を設けて、排出量を少なくする努力をしている。また、窒素酸化物は、光化学スモッグや酸性雨の原因にもなる。発生源は、工場、火力発電所、自動車、家庭など非常に多様で、東京、大阪の都市部では、自動車から排出される窒素酸化物の量が一番多く、全体の半分以上を占めている。
事業の課題・問題点	測定結果では、環境基準を満たしており、現時点では問題は無い。

### 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 大気汚染は、人体に影響を与える可能性が高いため、継続した観測が必要である。			

## 令和4年度事務事業評価シート

### 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	32	下水道事業		
担当課	建設課	担当係	上下水道係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	1. 自然+idea	(2) まちなみ環境	③ 協働による環境美化の推進	
事業の概要	生活環境と公衆衛生の向上を図るため、公共下水道事業を行い、普及率の向上を図る。			

### 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
宝満川流域下水道への接続を行うための基山汚水ポンプ場の詳細設計及び関連する幹線管の管路築造工事、詳細設計を行った。				
業務開始年度	平成13年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	478,575	千円	346,244	千円
内 補助金等	194,015	千円	173,118	千円

### 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	汚水ポンプ場については、詳細設計を行い、令和5～7年度において建設工事を実施する。 汚水ポンプ場までの流入管(第2・第6汚水幹線管)について、第2汚水幹線管路築造工事(φ490, L=456.7m)を施工した。また、第6汚水幹線管路については詳細設計を行った。 汚水ポンプ場及び汚水幹線管については、令和8年度の供用開始に向けてスケジュールどおり工事を実施する。
事業の課題・問題点	物価高騰により資材等の価格が上昇しており、当初よりも事業費増が見込まれる。事業の完遂には国庫補助金の確保が必須条件であるため、国等への要望を確実にやっていく。

### 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 事業完了に向け今後も継続して国及び県へ要望を行っていく。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	38	再生可能エネルギー事業		
担当課	まちづくり課、産業振興課	担当係	環境対策室生活環境係、農林業振興係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	1. 自然+idea	(2) まちなみ環境	④ 新エネ・省エネ対策	
事業の概要	地域における再生可能エネルギーポテンシャルや将来のエネルギー消費量などを踏まえた導入目標を策定し、その目標を達成するための具体的な施策等を検討する。 また、バイオマスの取組を検討する。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
再生可能エネルギー導入検討調査を実施し、本町では、太陽光発電設備及びバイオマスでの効果が期待できることが分かった。また、太陽光発電設備カーポートからEV自動車へ充電し、町民向け試乗体験型カーシェア事業に取り組んだ。 農業施設(施設園芸、農産物直売所及び農家レストランの複合施設)でのバイオマス導入については、導入可能施設が現時点ではないため、導入可能性の調査には至らなかった。今後、設置の見込みがある場合に検討することとした。				
業務開始年度	令和4年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	10,001	千円	9,515	千円
	内 補助金等	10,000	千円	9,515

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	再生可能エネルギーとなる太陽光・風力・地熱・水力・バイオマスのポテンシャルを調査した。太陽光については、公共施設146施設を調査し、コスト面での評価が高かった施設は32施設となった。また、バイオマスでは、食品バイオマス、農業残渣バイオマス、ふん尿・汚泥バイオマスの中で食品バイオマス発電が最も有効であることが確認できた。 試乗体験型カーシェア事業の導入に取り組み、令和4年度は庁用車として活用した。町民向けは令和5年4月から実施した。
事業の課題・問題点	太陽光で事業効果のある32施設の中から躯体状況等から設置可能な施設を絞り込み、公共施設等長寿命化計画との調整を図りながら整備計画を作成する。 令和5年度から取り組むため、今後、利用状況等を分析し、効果的な活用にむけ取り組む予定。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針(課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 令和5年度は、公共施設等への太陽光発電設備導入検討調査を実施し、今後の導入計画を作成する。また、カーシェア事業については、広く町民の方の利用に向けPRに努め、2050年度までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し継続して事業を展開する。			



# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	39	集落支援員事業(環境推進支援)事業		
担当課	まちづくり課	担当係	環境対策室生活環境係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	1. 自然+idea	(2) まちなみ環境	④ 新エネ・省エネ対策	
事業の概要	環境基本計画に関する事業の推進による地域の活性化を目的に集落支援員制度を活用し、課題の把握と活動の支援をする。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
①自動販売機設置箇所調査、②太陽光発電設備設置状況調査、③不法投棄等看板設置状況調査、④ごみ集積所・個別収集箇所調査、⑤庁舎等エネルギー使用量調査、⑥資源物回収ステーション維持管理やその他環境関連業務に携わり取り組んだ。				
業務開始年度	令和4年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	2,474	千円	2,393	千円
内 補助金等	0	千円	0	千円

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	①自動販売機設置箇所調査、②太陽光発電設備設置状況調査、③不法投棄等看板設置状況調査、④ごみ集積所・個別収集箇所調査、⑤庁舎等エネルギー使用量調査、⑥資源物回収ステーション維持管理やその他環境関連業務に携わり取り組みデータの整理を行ったことにより、適切な管理を行えるようになった。また、今後、現状分析の基礎資料に活用し、各地域の課題の洗い出しと解決方法を検討していく資料となる。
事業の課題・問題点	データを基に各地区の課題を地域と一緒に解決に向け検討する必要があるが、地域との連携まで至っていない。また、データを更新し適切に管理する必要がある。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 課題解決には地域と連携して取り組む必要があるため、地区へ出向いて連携する場を設定する。他部署とも情報共有を図り課題解決に取り組む。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	41	けやき台駅管理事業		
担当課	定住促進課	担当係	地域公共交通係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	1. 自然+idea	(3) 集客拠点整備	① 基山の顔となる集客拠点の周辺整備	
事業の概要	町の重要な交通結節点である、けやき台駅の無人化に伴い、安心して快適に利用できるような駅環境の維持・管理を図る。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
九州旅客鉄道株式会社と協議し、令和4年4月1日に駅管理の一部である改札業務や清掃業務等を受託する契約を締結した。同業務については、けやき台団地で地域まちづくり活動を行っている特定非営利活動法人きやまSGKに同日付で再委託し、駅環境の維持管理に加え、利便性の維持・活性化を図る事業を行った。				
業務開始年度	令和4年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	1,300	千円	1,300	千円
	内 補助金等	1,120	千円	1,120

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	本町にとって重要な交通結節点であるけやき台駅の環境維持を行うことで、けやき台駅の無人化に伴う影響を軽減し、駅を活用したイベント等の実施により、駅周辺の地域活性化につながった。
事業の課題・問題点	けやき台駅の無人化は回避することができたが、切符の払い戻しなど駅員(九州旅客鉄道株式会社の職員)でないと実施できない業務があり、そういったケースが発生した場合は、最寄りの有人駅の駅員に対応いただいている。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 九州旅客鉄道株式会社からの業務受託を継続し、けやき台駅の駅環境や利便性の維持に努める。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	47	橋梁長寿命化計画に基づく改修等整備		
担当課	建設課		担当係	整備・管理係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	1. 自然+idea	(4) 交通基盤整備	① 計画的で安全な交通基盤整備	
事業の概要	橋梁長寿命化計画に基づき、予防保全型の維持管理を行うため、計画的に改修等を実施する。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
基山町が管理する橋梁99橋の内、23橋の定期点検を行った。今回が2巡目となるが判定Ⅰは9橋、判定Ⅱは13橋、判定Ⅲは1橋、判定Ⅳは0橋であった。また、令和3年度の点検による判定Ⅲであった丸林橋の補修等の詳細設計を行った。				
業務開始年度	令和4年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	6,800	千円	11,824	千円
	内 補助金等	3,355	千円	6,056

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"><li>令和3年度に判定Ⅲであった橋梁について、補修設計を行った。</li><li>基山町橋梁個別施設計画に基づく橋梁点検を計画どおりに行うことができた。</li></ul>
事業の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"><li>橋梁の健全度は経年で劣化していくことから、橋梁長寿命化計画の通り予防保全的な工事を実施し橋梁の長寿命化を図っていく必要がある。</li><li>古くて小さな石橋などはBOXカルバート化や暗渠化して長寿命化を図る必要がある。</li></ul>

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 ・基山町橋梁個別施設計画の点検計画に基づき、橋梁点検を行っていく。 ・点検結果に基づき、必要に応じて橋梁の補修を行っていく。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	49	道路維持事業		
担当課	建設課		担当係	整備・管理係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	1. 自然+idea	(4) 交通基盤整備	① 計画的で安全な交通基盤整備	
事業の概要	町道の舗装補修(路盤改良)を行う。主な補修路線では、秋光・久保田線外を行う。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
・町道維持補修第1期工事 南長浦3号線 舗装打ち換え(路盤から)、重力式擁壁の設置 神の浦12号線 舗装打ち換え(路盤から)、集水桝設置、転落防止柵設置				
・町道維持補修第2期工事 長野村中線 舗装打ち換え、縦断側溝据付、集水桝設置 弓場下2号線 舗装打ち換え(路盤から)、集水桝設置、アスカーブ設置				
業務開始年度	-			
		令和4年度(予算)	令和4年度(決算)	
総事業費	12,529	千円	12,427	千円
内 補助金等	0	千円	0	千円

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	・傷んだ舗装の打ち換え、側溝及び擁壁を新設することにより地域の課題を解決することができた。
事業の課題・問題点	・道路の状態や地域の要望を適切に把握し、維持補修工事の計画をたてる必要がある。 ・計画にない箇所の維持補修の必要性があがった場合、優先順位をたてて対応していかなければならない。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針(課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 道路の状態において課内等で情報を共有し、数年間の計画を立てていくようにする。			

## 令和4年度事務事業評価シート

### 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	62	教育支援センター事業		
担当課	教育学習課	担当係	学校教育係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	2. 教育+idea	(1) 学校教育	① 時代に適応した教育力の強化	
事業の概要	心理的・情緒的要因等で学校を休みがちな児童生徒や学校へ通うことが難しい児童生徒の支援のため、教育支援センター(学校適応指導教室)を設置し、児童生徒の学習や生活に関する課題解決に向けて支援を行う。			

### 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
学校以外の居場所として、学習支援(オンライン学習等)や生活支援(調理実習、体験活動等)を行った。また、出席状況や活動内容など学校、家庭、SC、SSWと連携し、情報共有などの連携を行った。教育支援センター内で児童生徒が、安心して過ごせるように、個室ブースや、グループ活動、クールダウンを行えるような環境整備を行った。				
業務開始年度	令和3年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	2,634	千円	2,431	千円
内 補助金等	1,317	千円	1,215	千円

### 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	町立学校の不登校児童生徒に対する居場所として、学校、保護者、関係機関、地域からもある程度認知されるようになった。登録者数、定期利用者ともに増加傾向にある。
事業の課題・問題点	支援員が1名のため、利用者が多い時に十分な支援ができないことがある。今後、タブレット端末を使ってオンライン授業を受ける環境整備が必要になる。

### 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 支援員の増加や、学習用タブレットを持ってきて学校とつないで、オンラインで授業等を受ける児童生徒が増えているので、Wi-Fi環境整備拡張の必要がある。			

## 令和4年度事務事業評価シート

### 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	67	小学校放課後補充学習事業		
担当課	教育学習課	担当係	学校教育係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	2. 教育+idea	(1) 学校教育	② 学校と地域の連携	
事業の概要	主体的な学習の仕方を身に付けさせ、基礎的・基本的な学力の定着を図るため、小学3年生と小学6年生を対象に小学校補充学習事業を実施し学力向上を図る。			

### 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
令和4年6月から令和5年2月までの間で、水曜日の放課後(年間各18回)に各小学校において、小学3・6年生を対象とし、民間塾に委託して算数の補充学習を実施した。基礎や発展など理解度別のプログラムを準備し、参加者全体の理解度の底上げを図り、また、児童の参加率向上や授業への集中を持続させるためにパズル問題などのゲーム性を取り入れるなど工夫を行った。				
業務開始年度	平成28年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	7,920	千円	7,920	千円
内 補助金等	4,710	千円	4,710	千円

### 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	パズル問題などを取り入れて分かりやすく、児童が講師に質問しやすい雰囲気ですべての授業が行われるため、児童の学習意欲が高まっている。
事業の課題・問題点	児童の理解度に応じたプログラムを構築できるよう努め、基礎的・基本的な学力定着に努めていきたい。

### 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針(課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 財源措置が必要となるが、必要に応じて、対象学年の拡大や算数以外の教科の取り組みも検討したい。			

## 令和4年度事務事業評価シート

### 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	69	社会教育団体活動支援事業		
担当課	まちづくり課、こども課	担当係	文化・スポーツ係、こども未来係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	2. 教育+idea	(1) 学校教育	② 学校と地域の連携	
事業の概要	社会教育団体(青少年育成町民会議・子どもクラブ・PTA・文化協会)が行う活動を支援する。			

### 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
基山町文化協会の活動に対する補助金交付、鳥栖地区PTA・基山中PTA・基山小PTA・若基小PTAの活動に対する補助金交付。青少年育成活動を行う基山町青少年育成町民会議、基山町子どもクラブ連絡協議会に対する補助金交付。				
業務開始年度	平成14年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	1,956	千円	1,709	千円
内 補助金等	0	千円	0	千円

### 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	令和4年度の体育施設等の利用者は168,276人であり、前年度比10%増となっている。同年の体育施設等の使用料は12,740,220円であり、前年度比117%となっており、利用者数・使用者数とも増加傾向にある。また、令和4年度は指定管理者の自主事業に延べ9,483人が参加し、町民のスポーツ振興、健康増進を図った。青少年育成活動としては、少年の主張への約230人の参加、子どもクラブスポーツ大会への約500人の参加をはじめ年間を通して計画的に多様な活動を行うことで子どもの見守りや子ども同士の交流を行うことができた。
事業の課題・問題点	特になし。

### 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 今後も取組方針は変更せず継続し、基山町の文化振興や基山町の小学生・中学生が安全で安心して学校生活を送れるように補助する。また、学校外においても青少年の健全育成を推進するために補助を継続する。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	72	子ども読書活動推進事業		
担当課	まちづくり課		担当係	図書館係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	2. 教育+idea	(1) 学校教育		③ 学校と図書館の連携
事業の概要	基山町子ども読書活動推進計画に基づき、子どもの読書環境の整備や関係団体等と連携協力を図る。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
学校図書室からのレファレンスには、随時対応するとともに、必要に応じた図書資料の団体貸出を行った。また、学校図書室の休館時には、読書の時間として時間割を組み生徒を受け入れた。また、図書館で行う総合学習の授業で、図書館の仕組みや利用方法の説明を行い、読書活動の推進に努めた。さらに、学校図書司書の研修会を図書館で開催した。				
業務開始年度	平成24年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	0	千円	0	千円
	内 補助金等	0	千円	0

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	学校図書室の休館時には、読書の時間として時間割を組み生徒を受け入れることにより、子どもたちの図書館利用に繋がった。さらに、学校図書館で行われたしおりコンクールの展示や総合学習の授業で、図書館の仕組みや利用方法の説明を行うことにより、読書活動の推進に繋がった。
事業の課題・問題点	子ども達に対して読書環境の向上を進めていくために、子どもたちの家庭や学校図書室との連携をさらに深める必要がある。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 学校図書室との連携をさらに深めるために、定期的な意見交換を行う必要がある。			



# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	73	学校図書館電算化事業		
担当課	教育学習課	担当係	教育総務係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	2. 教育+idea	(1) 学校教育	③ 学校と図書館の連携	
事業の概要	学校図書館の図書の貸借・検索システムを導入することにより、学校図書館の設備の改善を図る。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
学校図書の貸出、返却をバーコードを読み取って管理できるよう学校図書館の管理システムを導入し、電算化を行った。				
業務開始年度	令和4年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	1,165	千円	1,144	千円
内 補助金等	582	千円	572	千円

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	学校図書の貸出・返却、蔵書管理、貸出冊数管理等がシステムで管理できるようになり、貸出や返却にかかる時間を短縮できるようになった 導入開始: 令和4年10月(基山中学校は令和4年9月)
事業の課題・問題点	基山小学校では生徒数が多く、授業間休みに貸出が間に合わない場合がある。バーコード利用ができる端末を増設して、より多くの児童が本を借りることができるよう環境整備を行っていく必要がある。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 今後も継続して実施していく。また、端末の増設などの環境整備を行っていく。			

## 令和4年度事務事業評価シート

### 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	74	学級支援事業		
担当課	教育学習課	担当係	教育総務係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	2. 教育+idea	(1) 学校教育	④ 特別支援教育の充実	
事業の概要	特別な支援が必要な児童生徒の学級生活をサポートする補助員を各学校に配置する。			

### 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容			
特別支援学級の児童生徒が増加しており、児童生徒の特性に配慮する特別支援学級補助員を適正に配置することで、教員が学習に適切な指導を行うことができた。			
業務開始年度	-		
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)
総事業費	24,339	千円	23,136 千円
内 補助金等	0	千円	0 千円

### 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	令和4年7月以降、若基小学校で1名欠員がでたが、採用活動を行い、年度末までには人員の確保を行い、支援ができた。 配置人数 基山小 8名、若基小 5名、基山中 4名
事業の課題・問題点	児童生徒の特性が多様化しており、補助員の対応の仕方によっては補助員が怪我をしてしまう場合があり、児童生徒への対応方法などの研修を行う必要がある。

### 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 特別支援学級補助員向けの研修等を実施していく。			

## 令和4年度事務事業評価シート

### 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	75	就学援助事業		
担当課	教育学習課	担当係	教育総務係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	2. 教育+idea	(1) 学校教育	④ 特別支援教育の充実	
事業の概要	安心して平等に教育を受けられるように、低所得家庭の児童生徒に対し、必要な学用品等の援助を行う。			

### 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対し、学用品費や給食費等の補助を行った。 補助人数 基山小学校 44名、若基小学校 15名、基山中学校 41名				
業務開始年度	-			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	10,242	千円	7,764	千円
内 補助金等	0	千円	0	千円

### 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	広報きやまでの募集記事掲載や、新入学説明会での制度説明を基山小学校、若基小学校で各1回実施することで周知し、就学援助の申請につながった。
事業の課題・問題点	制度について周知を増やし、制度利用が必要な家庭に漏れがないようにする必要がある。

### 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 援助が必要な家庭の漏れがないよう、健康増進課などと連携していく。また周知回数を増やしていく。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	91	体育施設維持管理運営業務		
担当課	まちづくり課		担当係	文化・スポーツ係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	2. 教育+idea	(3) スポーツ	① スポーツ人口の拡大	
事業の概要	多目的運動場、町営球場、総合体育館の維持管理・運営を行う。(R4にアリーナ床及び遮光改修予定)			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
指定管理者による施設管理・自主事業の実施および多目的グラウンド照明取替等の修繕を行った。				
業務開始年度	令和元年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	41,374 千円		41,344 千円	
	内 補助金等	0 千円		0 千円

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	令和4年度の体育施設等の利用者は168,276人であり、前年度比10%増となっている。同年の体育施設等の使用料は12,740,220円であり、前年度比117%となっており、利用者数・使用者数とも増加傾向にある。また、令和4年度は指定管理者の自主事業に延べ9,483人が参加し、町民のスポーツ振興、健康増進を図った。
事業の課題・問題点	施設の老朽化が進んでおり、計画的な改修を行う必要がある。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 現在の指定管理者の任期は令和5年度までであり、令和6年度から令和10年度までの次の指定管理者への継続をスムーズに行い、適正な施設管理の実施および主催事業の充実と計画的な施設改修を実施していく。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	98	基肄城跡災害復旧事業		
担当課	教育学習課	担当係	ふるさと歴史のまち推進係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	2. 教育+idea	(4) 文化財の利活用	① 歴史的文化財の保護	
事業の概要	平成30年7月の豪雨により被災してしまった基肄城跡について、復旧を図る。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
特別史跡基肄城跡水門跡災害復旧工事(取水部)を予定どおり完了した。基肄城跡水門跡(取水部)については、被災前のように水路に堰を復旧し、水門へ水が流れるようになり、歴史的景観の復旧が達成された。また、被災した説明板や記念碑を復旧した。				
業務開始年度	令和3年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	22,200	千円	18,914	千円
内 補助金等	17,939	千円	16,076	千円

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	特別史跡基肄城跡水門跡災害復旧工事(取水部)を予定どおり完了した。基肄城跡水門跡(取水部)については、被災前のように水路に堰を復旧し、水門へ水が流れるようになり、歴史的景観の復旧が達成された。また、被災した説明板や記念碑を復旧することにより、基肄城跡散策者等の利便を図ることができた。
事業の課題・問題点	平成30年に被災した基肄城跡については、令和4年度をもって災害復旧工事が完了した。基肄城跡については、指定面積が広大であり、降雨の大半は谷部に集中することとなるため、水みちの確認を行い、適切な排水計画を作る必要がある。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	完了
今後の取組方針(課題に対する改善等)	【第1次評価】 国指定の文化財である特別史跡基肄城跡について、文化財保護の観点から2次災害による現状変化を防止するとともに、歴史的景観を保全することが急務であるため、早急に災害復旧する必要がある。基肄城跡については、指定面積が広大であり、降雨の大半は谷部に集中することとなるため、全体的な水みちの確認を行うなど、現状把握を行い、近年の大雨に対応できる適切な排水計画を作る。災害復旧事業については、今後とも、有識者で構成された基肄城跡保存整備委員会や文化庁からの助言をもとに、災害復旧を実施する。  【第2次評価】 平成30年7月豪雨による災害復旧事業としては完了。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	112	米消費拡大推進協議会支援		
担当課	産業振興課	担当係	農林業振興係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	3. にぎわい+idea	(1) 農林業	① 農林業の維持管理の強化	
事業の概要	米消費拡大推進協議会補助金。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
基山町米消費拡大推進協議会に対して補助金を交付した。				
業務開始年度	平成6年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	400	千円	400	千円
内 補助金等	0	千円	0	千円

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	基山町米消費拡大推進協議会に対して補助金の交付を行ったことで、町内の米の声価高揚と消費拡大を推進することが出来た。
事業の課題・問題点	様々なイベントの景品として町内の米を提供し、町内の米の声価高揚と消費拡大を推進することができているが、さらなる宣伝効果を上げる取組などが必要。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 町内の米の声価高揚と消費拡大を推進するためには、継続的に支援していく必要がある。 イベントへの景品としての米提供だけではなく、独自の取組や宣伝効果を上げる取組について、検討が必要である。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	113	死亡獣処理対策事業		
担当課	産業振興課	担当係	農林業振興係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	3. にぎわい+idea	(1) 農林業	① 農林業の維持管理の強化	
事業の概要	畜産農家の経営安定を図るため、畜産農家が行う死亡獣畜の搬送処理及び処理に要する経費に対し、補助金を交付する。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
町内の畜産農家に対して事業の周知を行った。令和4年度は事業を活用する案件は発生しなかった。				
業務開始年度	平成14年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	33	千円	33	千円
内 補助金等	0	千円	0	千円

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	畜産農家が行う死亡獣畜の搬送処理及び処理に対して支援することで、町内の公衆の衛生の維持や特産農家の経営安定を図ることが出来ている。
事業の課題・問題点	担い手の不足等で町内の畜産農家が減少している。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	<b>【第1次評価・第2次評価】</b> 畜産農家が行う死亡獣畜の搬送処理及び処理に対して支援し、町内の公衆の衛生の維持や特産農家の経営安定を図るために継続的に支援していく必要がある。 国や県の畜産農家への補助事業は、要件などが厳しく町内の畜産農家が活用が難しい。そのため、町内の畜産農家が継続的に営農できるような町独自の支援を検討する必要がある。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	114	家畜ふん尿処理事業		
担当課	産業振興課	担当係	農林業振興係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	3. にぎわい+idea	(1) 農林業	① 農林業の維持管理の強化	
事業の概要	畜産農家の経営の効率化と環境保全型農業振興を目指すため、家畜ふん尿の適正処理に取り組む資材購入に対し、補助金を交付する。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
町内の畜産農家に対して事業の周知を行った。令和4年度は事業を活用する案件は発生しなかった。				
業務開始年度	平成15年度			
	令和4年度(予算)	令和4年度(決算)		
総事業費	120	千円	0	千円
	内 補助金等	0	千円	0

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	家畜ふん尿の適正処理のため微生物を使った土壌改良資材又は経口資材を使い、臭気の少ない堆肥づくり、良質で安全な農作物の栽培と生産性の向上のために有機農業の普及推奨に取り組み資材購入者に平成15年度から20年間支援を行ったことで、畜産農家の経営の効率化と環境保全型農業の振興に寄与することが出来た。
事業の課題・問題点	担い手の不足等で町内の畜産農家が減少している。 町内で環境保全型農業に取り組む農業者が増えてきているが、まだまだ少数である。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	廃止	第2次評価	廃止
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 事業を実施したことで事業目的を一定程度達成することができたが、町内の畜産農家の減少や環境保全型農業振興には、様々な課題があるため、現在の情勢等に合わせた新たな取組や支援などを検討する必要がある。			



# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	116	造林事業		
担当課	産業振興課	担当係	農林業振興係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	3. にぎわい+idea	(1) 農林業	① 農林業の維持管理の強化	
事業の概要	重視すべき森林の機能に応じた造林事業を行う森林所有者その他の者で、森林作業道整備の経費に対し、補助金を交付する。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
森林経営計画の認定を受けた2事業者に対して、県の補助事業と合わせて造林、下刈り、除伐、間伐等の森林整備作業の支援を行った。				
業務開始年度	平成29年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	378	千円	96	千円
内 補助金等	0	千円	0	千円

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	造林、下刈り、除伐、間伐等の森林整備作業を行う事業者を支援することで、国土の保全や水源のかん養などの森林の有する多面的機能の高度発揮などに寄与することが出来た。
事業の課題・問題点	個人所有の森林については造林、下刈り、除伐、間伐等の森林整備作業が必要な森林が多い状況にあるが、個人での森林整備作業は難しい。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 国土の保全や水源のかん養などの森林の有する多面的機能の高度発揮のためには、造林、下刈り、除伐、間伐等の森林整備作業を行う事業者などを継続的に支援していく必要がある。 当事業は県の事業に合わせて実施しているため、町内の個人森林所有者では活用が難しい状況であるため、個人でも活用しやすい町独自の支援などを検討する必要がある。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	117	農業農村振興整備事業		
担当課	産業振興課		担当係	農林業振興係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	3. にぎわい+idea	(1) 農林業		① 農林業の維持管理の強化
事業の概要	農地・農業用施設等の農業生産基盤の維持及び整備を行うことにより発揮される多面的機能の維持及びそれによる農業・農村の振興を図るため、農地等の整備に伴う経費に対し、補助金を交付する。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
令和4年度は、農業・農村振興整備事業のかんがい排水施設の新設・改良事業の2件について、補助金を交付し支援を行った。				
業務開始年度	令和3年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	4,491	千円	4,491	千円
	内 補助金等	0	千円	0

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	農業・農村振興整備事業補助金の交付により、申請者によるかんがい排水施設の新設・改良が実施されたことで、農業・農村の有する多面的機能の維持に寄与することが出来た。
事業の課題・問題点	農業の担い手や農地の受益面積が減少しているなか、事業費のうち補助金以外の負担額が大きく、整備を行うべき施設であっても、その実施が難しい面がある。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針(課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 農業用施設の整備については、国及び県の補助事業も多く、また高補助率となっていることも多いが、申請要件等の課題があることから、それぞれの個別内容に応じて適切な事業実施を検討し、事業費が大きくなるものについては、なるべく国及び県の事業の活用を推進し、負担金の課題の解決を図っていくとともに、本事業の活用についても広く農業者等に周知する。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	119	中山間地域等支援事業		
担当課	産業振興課	担当係	農林業振興係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	3. にぎわい+idea	(1) 農林業	① 農林業の維持管理の強化	
事業の概要	高齢化等により農地の維持や農業者の確保が困難となる中山間地域において、活動する団体等と連携して、作付や農産加工の推進による所得向上や農地維持等を目的とした事業を実施する。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
佐賀県それぞれの中山間チャレンジプロジェクトにおけるモデル地区として選定したチャレンジ産地の団体の目標実現に向け、農産物加工による継続的な商品開発や先進地視察研修、新規作物導入検討試験栽培の取組を支援した。				
業務開始年度	令和3年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	935	千円	392	千円
	内 補助金等	466	千円	190

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	チャレンジ産地の農業所得の向上と農業者の維持・増加及び農地の維持を図るための取組みを支援し、基山町中山間農業の活性化を図ることができた。
事業の課題・問題点	中山間地において農業者の減少や高齢化は平地と比べて顕著であり、農業の維持がますます厳しくなっている中、当該事業をモデル的にいかに他地域に波及させ、基山町中山間農業を活性化を図っていくのが課題である。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	完了	第2次評価	完了
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価】 当該事業としてチャレンジ産地を令和3年度から令和4年度までの2年間継続的に支援を行ったことで、チャレンジ産地の目標を達成することができた。 基山町中山間農業を活性化していくためには、当該事業のモデル的に他地域に波及や当該事業の後継事業にあたる「未来につながるが中山間プロジェクト」に取り組む団体などの発掘を行っていく必要がある。  【第2次評価】 当該事業については完了とするが、引き続き中山間地域等への支援を行っていく必要がある。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	142	生涯現役促進地域連携事業		
担当課	産業振興課	担当係	商工観光係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	3. にぎわい+idea	(2) 工業	③ 企業による魅力創造	
事業の概要	地域の実情に応じて高齢者の多様な就職機会の確保方策について協議を行う「協議会」を組織し、地域関係者と協働で包括的な支援体制をつくることで、高齢者の能力を活かした新しい雇用を生み出す。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
地域の実情に応じて高齢者の多様な就職機会の確保方策について協議を行う「基山町生涯現役地域連携協議会」において、厚生労働省の「生涯現役地域連携事業」に採択され、佐賀労働局から受託した10事業を実施した。				
業務開始年度	令和2年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	18,607	千円	10,139	千円
内 補助金等	18,607	千円	10,139	千円

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	地域関係者と協働の包括的な支援体制である「基山町生涯現役地域連携協議会」において10事業を実施し、無料職業紹介所であっせんを行うことで、147件の求職者を受付し、求人数は435件に対し117件の紹介状を発行し、37件の雇用契約を結ぶことができた。
事業の課題・問題点	本事業は令和4年度で完了する事業であり、十分に高齢者の能力を活かした新しい雇用を生み出すことができたと言える。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 今後は、本事業を引き継ぎ、高齢者を中心とした多様な人材の活躍による地域活性化を目指して、労働行政における生涯現役事業に取り組みたい。			

## 令和4年度事務事業評価シート

### 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	157	中心市街地活性化事業		
担当課	産業振興課	担当係	商工観光係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	3. にぎわい+idea	(3) 商業	② 連携による魅力づくり	
事業の概要	商店街や商工会と連携して、空き店舗(スペース)活用や商店街にぎわいづくりの取組等を行い、中心市街地活性化を目指す。			

### 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
商店街や商工会と連携して、空き店舗(スペース)活用や商店街にぎわいづくりの取組等を行い、中心市街地活性化を目指した。				
業務開始年度	平成30年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	98,227	千円	98,227	千円
内 補助金等	20,425	千円	20,425	千円

### 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	平成29年度に策定された「基山町中心市街地活性化基本計画」に基づく48事業の内、基山駅から商店街への通り抜け路地整備事業など15事業を完了し、20事業を実施継続中である。
事業の課題・問題点	本事業は令和4年度で完了する計画であり、十分に商店街や商工会と連携して、空き店舗(スペース)活用や商店街にぎわいづくりの取組等を行い、中心市街地活性化に寄与した。

### 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	完了	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価】 今後は、本事業を引き継ぎ、4商店会を中心とした「基山町商店街等活性化委員会」において、商店街等の活性化に向けて取り組む。 【第2次評価】 今後も中心市街地の活性化が必要である。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	176	体験型サービス創出補助金		
担当課	産業振興課	担当係	商工観光係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	3. にぎわい+idea	(4) 観光	② おもてなし体制の強化	
事業の概要	基山町の歴史・伝統文化資源を活用した体験型サービスの創出や町内回遊を目指して、電動アシスト付自転車によるレンタサイクル事業を推進する。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
基山町観光協会において実施するレンタサイクル事業に対して補助金を交付した。レンタサイクル事業では、基山駅前駐輪場に設置したレンタサイクル「キマチャリ」6台を管理運営を行い、年間延利用数143回の利用であった。また、スマホアプリを活用したレンタルシステムによる観光客データの収集分析、キマチャリを活用した観光スポットを巡る「キマチャリツアー」を5回(町内外から13人参加)実施、観光PRと情報発信、利用促進のための表示や利用ガイド作成等を行った。				
業務開始年度	平成31年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	1,706	千円	1,303	千円
	内 補助金等	853	千円	652

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	基山駅前駐輪場に設置したレンタサイクル「キマチャリ」の管理運営する事業に補助することで、町に訪れる観光客の利便性向上や回遊性を高め、基山町の観光振興を図るとともに、来訪者の増加、満足度の向上及び定住促進など地域振興に寄与することができた。
事業の課題・問題点	町の二次交通としての認知度が低いため、使いやすさを伝えていく必要がある。また、スマートフォンアプリを使ったシステムであり、不慣れな方への使い方の案内が必要である。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針(課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 町の玄関口である基山駅から二次交通として、更なる利用増を目指す。なお、特別史跡「基肆城」への交通手段として遠方の県外者の利用が多く、また、基山町の立地特性上、隣接市域へのビジネス利用もある。これらの利用層を更に延ばすべく、基山町観光協会と連携して、HP等でのわかりやすい情報発信や利用ガイドを用いて、安価で利用しやすい移動手段として案内に取り組む。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	178	公共施設Wi-Fi事業		
担当課	まちづくり課	担当係	文化・スポーツ係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	3. にぎわい+idea	(5) 基山発	① どこでもつながるWi-Fi環境	
事業の概要	町民会館・総合体育館等の交流拠点においてサービス向上と情報提供のため、公衆無線LAN環境を提供する。 ※保守管理等の金額については、公共施設の指定管理料に含む。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
町民会館・総合体育館・合宿所のWi-Fi環境の継続。				
業務開始年度	令和元年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	0	千円	0	千円
	内 補助金等	0	千円	0

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	町民会館・総合体育館・合宿所のWi-Fi環境を継続することにより、施設利用者の利便性を向上することができた。
事業の課題・問題点	機器の更新等の維持管理が必要。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 今後は機器の更新等の維持管理が必要となる。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	181	広報戦略強化事業		
担当課	企画政策課		担当係	広報・情報管理係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	3. にぎわい+idea	(5) 基山発		② 基山色豊かで積極的な情報発信
事業の概要	広報紙、ホームページ、SNS等を駆使し町内、町外へ基山町の政策、観光、文化等の情報発信を強化するため、システムや、運用の改善を行う。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容						
広報誌の発行回数の検討を行った。 若年層の利用率の高いSNSであるインスタグラムの運用を開始し、町の施設やイベントに関する情報発信を行った。 町公式LINEの利用者を増やすため、広報誌やSNS等による周知を行った。						
業務開始年度	-					
		令和4年度(予算)		令和4年度(決算)		
総事業費	3,802		千円		3,802	
	内 補助金等		0		千円	
		千円		千円		

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	広報推進検討協議会による検討やパブリックコメントを行い、今後広報誌はホームページやSNS等多様なメディアを併せて情報発信に努めながら、発行回数を月1回で行うこととした。 インスタグラムにより、町の情報を町内外の若年層に発信した。 町の公式LINEの利用者が増え、より多くの方に町の情報を周知することができた。
事業の課題・問題点	広報発行回数が1回になるため、内容の充実とともに、ホームページ等のメディアを更に活用し、より充実した情報発信を行う必要がある。 インスタグラムなどのSNSに関する職員のスキルを向上し、効果的な情報発信を必要がある。 町公式LINEの利用者については一定数の増加があったが、町の情報を効果的に発信できるツールのため、今後も継続して周知を行う必要がある。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針(課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 町民の情報取得の手段としてSNSやインターネットの利用が主流となっており、今後は双方向でのやり取りも行うことができる仕組みづくりが必要である。現在、広報紙のほか、HPやLINEをはじめとするSNS、テレビのDボタン広報など情報発信の手段としては充足しているが、高齢者など情報弱者(デジタルデバインド)への取り組みも引き続き行っていくこととする。			



# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	189	病後児保育事業		
担当課	健康増進課	担当係	子育て包括支援係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	4. 安心安全+idea	(1) 子育て支援	① 子育て支援の充実	
事業の概要	病気の回復期、集団保育が困難で、かつ、保護者の勤務等の都合により家庭での保育を行うことが困難な乳幼児又は児童を預かるための保育施設を建設し、病後児保育事業を実施する。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
令和2年4月から事業を開始し、子どもが病氣やけがの回復期であり学校や保育園・幼稚園に通うことが困難な児童の保育を保健センターと基山保育園が連携して行った。				
業務開始年度	令和2年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	695	千円	277	千円
内 補助金等	0	千円	0	千円

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	令和4年度の事前登録者数は、122人で、7人の方が利用された。保護者の子育てと就労の両立の支援を行うことができた。
事業の課題・問題点	利用者を増やすこと及びそれに伴う支援従事者の確保が必要。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 病後児保育事業の周知に努め、利用者の拡大を図り、保護者の子育てと就労の両立を支援するため事業を継続していく。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	191	子ども・子育て支援事業計画推進事業		
担当課	こども課	担当係	こども未来係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	4. 安心安全+idea	(1) 子育て支援	① 子育て支援の充実	
事業の概要	子ども・子育て支援事業計画の立案及び推進・進捗に関する点検を行う。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容			
令和2年3月に策定した第2期基山町子ども・子育て支援事業計画(計画期間令和2年度～6年度)の進捗管理として「基山町子ども・子育て会議」において事業の実施状況や、費用の使途実績等について毎年度点検を行うもので、令和3年度の事業実績の点検を行った。			
業務開始年度	平成27年度		
	令和4年度(予算)	令和4年度(決算)	
総事業費	85,848 千円	65,622	千円
内 補助金等	61,779 千円	48,482	千円

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	子ども子育て会議において、現在取り組んでいる子ども・子育て支援事業計画の主な事業について、実績値や今後の事業の方向性等を説明し、ご意見をいただくことで客観的な評価ができた。
事業の課題・問題点	子ども子育て会議でいただいた評価に対し改善できる点を確実に次年度事業、また次期のこども計画に反映し、PDCAサイクルに基づいた進捗管理を行う。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針(課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 今後も、国の施策等を注視しながら事業を継続する。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業	事業番号	事業名		
	192	利用者支援事業		
担当課	こども課	担当係	みらい館係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	4. 安心安全+idea	(1) 子育て支援	① 子育て支援の充実	
事業の概要	ピカピカの1年生プロジェクトを行い、町内6園の情報共有と未就学児から小学生へのスムーズな移行を図る。			

## 2. 事業の実績 (Do)

令和4年度に実施した取組内容				
・ピカピカの1年生プロジェクトとして、4歳児就学準備事業、フォローアップ支援事業、就学前英語教室、小学校体験教室、子育て支援ネットワークコーディネーターの配置を行い、就学前教育から小学校教育への移行期支援を行った。 ・4歳児就学準備事業では、町内の4歳児を対象にそれぞれの子どもの得意なこと苦手なことを調査し、それぞれに合わせた就学への継続的支援プログラムを提案、コンサルテーションを行った。 ・フォローアップ支援事業では、4歳児就学準備事業の特性検査後、子ども一人一人の得意、不得意に応じて5歳児にフォローアッププログラムを実施した。苦手部分等の変化について再度追加検査をし、就学直前の課題を保護者にフィードバックし、個別のフォローや保護者相談を実施した。また、町内6園の保育士・幼稚園教諭合同研修会を実施した。 ・就学前英語教室では、町内の5歳児を対象に英語無料教室を実施した。 ・小学校体験教室では、町内の保育園、幼稚園に通園する5歳児(年長児)やその保護者を対象に、就学に向けてのお話会や説明を実施した。 ・子育て支援ネットワークコーディネーター(社会福祉士及び臨床心理士)を配置し、町内の保育園、幼稚園、放課後児童クラブ等の巡回や相談業務を実施した。				
業務開始年度	平成28年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	10,279	千円	9,734	千円
内 補助金等	8,566	千円	8,111	千円

## 3. 評価 (Check)

事業評価	
事業の成果・効果	・4歳児就学準備事業実施人数:168人(対象者数:176人) ・フォローアップ支援事業追加検査人数:40人、個別支援件数:68件 ・就学前英語教室実施回数:40回、参加人数:55人(対象人数:120人) ・子育て支援ネットワークコーディネーター巡回回数:168回(保育園・幼稚園88回、放課後児童クラブ等80回)、個別相談件数:28件 ・ピカピカの1年生プロジェクトとして各事業を実施することで、小1プロブレムが減少し、就学前教育から小学校教育への円滑な移行が図られている。
事業の課題・問題点	・小学校教育への円滑な移行に困難が予想される子どももいることから、保護者の理解と協力を得ながら、各幼稚園、保育所と指導方法等を共有し、各小学校への連絡や引継ぎ等の連携を更に強化する必要がある。

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針(課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 就学前教育から小学校教育への円滑な移行期支援を行うために、各事業について、町内6園の情報共有等の連携に加え、各小学校への連絡や引継ぎ等を更に密に行い、継続的に実施していく。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	202	虐待防止ネットワークづくりの強化		
担当課	健康増進課	担当係	子育て包括支援係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	4. 安心安全+idea	(1) 子育て支援	② 基山の子育ての輪づくり	
事業の概要	要保護児童対策地域協議会・児童相談所との連携強化により、児童虐待の発生予防と早期発見・早期対応を行う。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容			
要保護児童対策地域協議会における代表者会議を1回、実務者会議を4回行った。			
業務開始年度	平成25年		
	令和4年度(予算)	令和4年度(決算)	
総事業費	52 千円	46	千円
内 補助金等	0 千円	0	千円

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	児童虐待の未然防止や早期発見、早期対応のためには、関係機関が連携して取り組んでいくことが重要であり、基山町要保護児童対策地域協議会を開催することにより情報共有を図り、連携強化に繋がった。
事業の課題・問題点	現代社会において、児童虐待は大きな問題であり、今後も引き続き関係機関との情報共有や連携強化を図る必要がある。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 子ども達の心身の健全な発達に影響を及ぼす児童虐待などを未然に防ぐために、関係機関と情報共有を図り連携を強化して事業の継続を行う。			

## 令和4年度事務事業評価シート

### 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	214	ボランティアセンター事業の充実		
担当課	福祉課	担当係	社会福祉係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	4. 安心安全+idea	(2) 高齢者支援	① 安心できる高齢者支援	
事業の概要	社会福祉協議会のボランティアセンターへ事業費を補助し、ボランティア活動育成や研修等を支援する。			

### 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
社会福祉協議会のボランティアセンターに事業費を補助しており、ボランティア活動育成のために、ボランティア講座や、スキルアップ研修会を年3回程度開催し、1回の講座等に約20名の出席者があり、ボランティア活動育成に支援を行った。				
業務開始年度	-			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	836	千円	832	千円
内 補助金等	0	千円	0	千円

### 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	多様化するニーズに対応できるように、ボランティア講座や、スキルアップ研修を年3回以上行い、ボランティアセンター事業の充実を図った。
事業の課題・問題点	多くの方に講座や研修会に参加していただくために、広報等で周知を行う。

### 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 今後も多くの方にボランティア活動に参加していただくために、ボランティア活動の育成に努める。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名	
	215	地域福祉計画策定業務	
担当課	福祉課	担当係	社会福祉係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策
	4. 安心安全+idea	(2) 高齢者支援	① 安心できる高齢者支援
事業の概要	社会福祉法第107条の規定に基づき、地域住民や地域福祉活動が主体で、ボランティア団体等が一体となり、ちいきぐるみの福祉を推進するための計画を策定する。		

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容			
令和4年度に、策定委員会を4回開催し、2,000人を対象としたアンケート調査や町民ワークショップを2回、パブリックコメントを実施し、令和5年度から令和9年度までの第3期基山町地域福祉計画を策定した。			
業務開始年度	令和4年度		
	令和4年度(予算)	令和4年度(決算)	
総事業費	2,604 千円	1,096	千円
内 補助金等	0 千円	0	千円

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	平成29年度に、第2期基山町地域福祉計画を策定し、基山町、地域住民、各種関係機関等の多様な主体が協働し合い、ともに生きる社会づくりの原点に立った、支え合えるまちづくりを目指して、地域福祉施策を推進した。
事業の課題・問題点	住民の方が安心して暮らしていく社会を築くためには、地域と行政との協働による取組が不可欠で、地域福祉計画の推進にあたっては、行政だけでなく地域福祉の様々な担い手が特徴や能力を活かし、それぞれの役割を果たしながら、お互いに連携を図り協働による取組を図る。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	完了
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価】 国では、「ニッポン一億総活躍プラン」において、高齢者、障がい者、子どもなど全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高めあうことができる「地域共生社会」の実現を掲げており、町としてもその実現に向けて、住民が主体的に地域課題を把握し解決するための仕組みづくりや、複合化・複雑化した課題を受け止めるための包括的な支援体制の確立に向けた新たな地域福祉施策を進めていく。  【第2次評価】 第3期地域福祉計画の策定は完了した。			

## 令和4年度事務事業評価シート

### 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	227	養護老人ホーム入所措置事業		
担当課	福祉課	担当係	プラチナ社会政策室高齢福祉係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	4. 安心安全+idea	(2) 高齢者支援	① 安心できる高齢者支援	
事業の概要	養護老人ホームに入所されている方の費用を扶助する。			

### 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容			
本町で措置した養護老人ホーム入所者6名に対し、入所費用等を扶助した。			
業務開始年度	-		
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)
総事業費	19,693	千円	14,486 千円
内 補助金等	1,741	千円	1,712 千円

### 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	環境上・経済的理由により居宅で生活できない高齢者の生活の確保に寄与した。
事業の課題・問題点	なし

### 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 養護老人ホームは環境上・経済的理由により居宅で生活できない高齢者の生活を確保するための公的な制度であり、高齢者にとってのセーフティネットとなっているため、引き続き事業は継続する。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	228	食の自立支援事業		
担当課	福祉課	担当係	プラチナ社会政策室高齢福祉係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	4. 安心安全+idea	(2) 高齢者支援	① 安心できる高齢者支援	
事業の概要	高齢者等で心身の疾病等で食事の調理が困難な方に、栄養バランスのとれた弁当を自宅に訪問配達し、安否確認や孤独感の解消等を行う。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
延べ1164人、21,962食分の配達を行い、高齢者の安否確認及びバランスのとれた食事の提供を行った。高齢者の体調不良等の緊急時には、委託業者と連携し、早急な対応に繋げた。また、利用者のうち53人の方の利用状況の確認を行い、適切な利用の推進に努めた。				
業務開始年度	-			
		令和4年度(予算)	令和4年度(決算)	
総事業費	8,720 千円		8,050 千円	
	内 補助金等	7,960 千円		7,960 千円

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	高齢者の安否確認により、孤独感及び不安感の解消を図った。また、バランスのとれた食事の提供を行うことで、高齢者の健康状態の向上に繋げた。
事業の課題・問題点	委託事業者の人材不足や食材費等の高騰で、次年度以降の利用料を改定することとなり、利用者の負担が増加する。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 利用者の安否確認に繋がる事業なので継続していきたいが、人材不足や食材費等の高騰の影響が利用者への負担となっている。今後、高齢者の世帯数は増加傾向にあるため、利用者数の増加も見込まれる。現状のサービス以外で高齢者の見守り及びバランスの良い食事の提供する方法を検討していく必要がある。			



# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	229	敬老祝金事業		
担当課	福祉課	担当係	プラチナ社会政策室高齢福祉係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	4. 安心安全+idea	(2) 高齢者支援	① 安心できる高齢者支援	
事業の概要	高齢者の長寿を祝福し、敬老の意を表するために祝金の支給を行う。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容			
77歳を迎える158人及び88歳を迎える81人の方にそれぞれ1万円、100歳を迎える5人の方に5万円を支給した。			
業務開始年度	-		
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)
総事業費	2,640	千円	2,640 千円
	内 補助金等	0	千円

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	高齢者の長寿のお祝いとして支給し、高齢者の生きがいや生活支援等に寄与した。
事業の課題・問題点	高齢化に伴い年々支給対象数が増加している。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 高齢者への敬意を表する事業として継続の必要性はあるが、今後支給要件の見直しや、別事業への転換も含めた検討は必要になる。			

## 令和4年度事務事業評価シート

### 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	231	老人福祉対策事業		
担当課	福祉課	担当係	プラチナ社会政策室高齢福祉係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	4. 安心安全+idea	(2) 高齢者支援	① 安心できる高齢者支援	
事業の概要	ねたきり老人等の介護者の精神的、経済的な負担の軽減のために手当の支給を行う。また、高齢者の社会参加を促すための事業を実施する社会福祉法人等へ補助金を交付し事業の推進を支援する。			

### 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
社会福祉協議会に対し、在宅寝たきり高齢者介護者手当支給事業やふれあい事業、高齢者活動活性化支援事業として補助金を支給した。				
業務開始年度	-			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	1,245	千円	738	千円
内 補助金等	0	千円	0	千円

### 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	社会福祉協議会を通して、寝たきり高齢者等の介護者の負担の軽減に寄与した。また、敬老会やサロン対抗運動会等のイベントへの補助を行い、高齢者の社会参加や生きがい、交流の場づくりに繋げた。
事業の課題・問題点	イベント等の参加者が固定化する傾向があるため、新たな参加者を巻き込むために、内容の変更や参加しやすい体制作りが必要。 情報が社会福祉協議会や行政まで繋がらない世帯もあるため、支援に繋がるまで期間を要する世帯もある。

### 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 今後高齢者数及び高齢者世帯が増加傾向にあるため、介護者の負担軽減も引き続き求められる。また、高齢者の社会参画や生きがい・交流が健康寿命の延伸や地域の活性化に関連するため、事業継続に向けて支援も継続していく。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名	
	233	高齢者地域活動支援事業	
担当課	福祉課	担当係	プラチナ社会政策室高齢福祉係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策
	4. 安心安全+idea	(2) 高齢者支援	① 安心できる高齢者支援
事業の概要	高齢者地域活動団体の連絡会を設立し、高齢者の地域活動に対し支援を行う。		

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
高齢者の地域活動団体となる「プラチナ協議会」の設立を行い、各区から代表団体を擁立し、各団体の活動の活性化に向けて協議を実施した。				
業務開始年度	令和4年度			
	令和4年度(予算)	令和4年度(決算)		
総事業費	0	千円	0	千円
	内 補助金等	0	千円	0

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	各区団体の活動の活性化に向けて補助金に関する検討を行い、次年度からの補助金支給の体制を整備した。今後の活動に向け、各区で情報共有を図った。
事業の課題・問題点	各区団体の形式が異なっており、補助金の要件等に差異が生じるケースがある。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 補助金の支給要件について、各区で不均衡が生じないように改めて協議を行い、改善に取り組む必要がある。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	236	多世代交流センター憩の家管理事業		
担当課	福祉課	担当係	社会福祉係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	4. 安心安全+idea	(2) 高齢者支援	② 基山で楽しいシニアライフ	
事業の概要	高齢者から子どもまで多世代交流の促進に寄与するための施設として、憩の家の管理、運営を指定管理者制度により行う。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
基山町多世代交流センター憩の家では、どなたでも参加できるイベントとして、いこいフェスタや音楽サロン、サークル等さまざまな事業を開催し多世代間の交流事業を行った。また、令和4年5月からは、毎月1回町内にお住まいの子どもから高齢者まで幅広い世代の方に食事を提供する機会を創り、子どもと大人の繋がりや地域とのコミュニティ連携が図られるよう多世代食堂を開催している。				
業務開始年度	平成30年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	17,819	千円	17,819	千円
内 補助金等	0	千円	0	千円

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	事業の成果として、手芸サークルや編み物活動等のサークルについては、毎回10名以上の多くの方が利用され、交流の場所として活用されている。 多世代食堂では、延べ1,309名の方が参加され、食事を食べながら高齢者や子ども、親が交流することで地域のコミュニティ連携が図られた。また、同時にフードライブも開催し、余剰食品を活用して必要な方に提供している。
事業の課題・問題点	多世代間の交流が行えるように、若い方にも多く参加していただくための事業を今後も検討していく。 多世代食堂では、今後も多くの方に食材提供の協力をいただき、子育て中のひとり親家庭の方についても、多世代食堂を利用してもらえるように周知を行っていく。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 今後も、子どもから大人まで多くの方に参加してもらえるような事業を開催し、広報等で周知を行い多世代交流の場として活用していく。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	239	障害者相談支援事業		
担当課	福祉課	担当係	障がい福祉係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	4. 安心安全+idea	(3) 障がい者(児)支援	① 障がい者(児)支援の強化	
事業の概要	障害者の相談支援充実を図るため、鳥栖・三養基地区総合相談支援センターを鳥栖市、みやき町、上峰町及び基山町で共同設置し、運営委託を行う。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容			
令和3年度まで、鳥栖三養基地区の委託相談事業所としてキャッチに委託していたが、重層的な相談体制を整えるため、令和4年度より委託相談事業所を3箇所に増やし、キャッチ(身体、知的等)、若楠療育園(児童)、こころね(精神)と連携を取りながら、鳥栖・三養基地区の課題解決に向けて取り組んでいる。			
業務開始年度	-		
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)
総事業費	5,150	千円	5,150 千円
内 補助金等	3,862	千円	3,862 千円

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	令和3年度まで1箇所だった相談支援事業所を令和4年度から3箇所に増やしたことで、専門的な相談事業所が増え相談者に対してより細やかな支援ができるようになった。
事業の課題・問題点	地域で生活する障害のある方や、ご家族等の相談に応じ、必要な情報の提供、障害福祉サービス利用に向けた支援、権利擁護のために必要な援助を行っていく。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針(課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 相談される方が障害の内容に応じて、気軽に相談できるように広報等を行っていく。			

## 令和4年度事務事業評価シート

### 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	247	重度身体障害者住宅改善整備等助成事業		
担当課	福祉課	担当係	障がい福祉係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	4. 安心安全+idea	(3) 障がい者(児)支援	① 障がい者(児)支援の強化	
事業の概要	移動機能に障害がある方で、浴室や便所などの段差の解消や手すりの設置などのため、費用の一部を助成する。			

### 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容			
令和4年度は1件の申請があり、重度の身体障害者及び重度の身体障害児の日常生活が容易になるよう在宅の重度身体障害者等が居住する世帯に、住宅を改善する費用の一部を補助し、重度身体障害者等の居住環境の整備を図った。			
業務開始年度	-		
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)
総事業費	360	千円	320 千円
	内 補助金等	0 千円	0 千円

### 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	重度身体障害者等住宅改善整備等事業費補助金を利用し、風呂場の手摺等を設置したことで居住環境の改善や、経済的な支援を行った。
事業の課題・問題点	障がい者の方が住宅改善工事を行う場合に、重度身体障害者等住宅改善整備等事業費補助金の該当になるか分からないため、周知等に努める。

### 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 重度身体障害者等住宅改善整備等事業について、必要な方が利用できるように広報等で周知を行っていく。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	254	子どもインフルエンザ予防接種費助成事業		
担当課	健康増進課	担当係	健康増進係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	4. 安心安全+idea	(4) 健康・医療	① みんなが元気なまちへ(健康づくりの強化)	
事業の概要	0歳から18歳になる年度までの子どもに対し、インフルエンザ予防接種の助成を行う。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
0歳から18歳になる年度までの子どもに対し、インフルエンザ予防接種の助成を行う。 全助成件数 1,123件				
業務開始年度	平成25年			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	2,864	千円	2,246	千円
	内 補助金等	0	千円	0

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	予防接種を受けることにより、発症予防または重症化予防が図れた。
事業の課題・問題点	接種すると発症予防または重症化予防が期待できるため、できる限り多くの方へ接種していただく必要がある。そのためにもホームページ等での周知を充実させることが重要。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 一人でも多くの方に接種していただくためにホームページ等での周知を充実させて、予防接種費の助成を実施する。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	256	国民年金事務		
担当課	福祉課		担当係	保険年金係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全+idea	(4) 健康・医療		① みんなが元気なまちへ(健康づくりの強化)
事業の概要	国民年金の各種手続を市町村が窓口となり行う。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
・申請、届出の受付、相談、年金機構への報告業務 ・障がい福祉係と連携し、生活保護の受給開始や廃止等及び障害年金の受給者について、法定免除該当・非該当の手続きを行った。				
業務開始年度	-			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	53	千円	46	千円
内 補助金等	53	千円	46	千円

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	・申請、届出の受付、年金機構への報告業務等を滞りなく実施し、住民サービスの維持ができています。 ・障がい福祉係との連携により、生活保護の受給・廃止の把握や障害年金受給者の法定免除の開始及び廃止に係る手続きを徹底することができた。
事業の課題・問題点	生活保護の受給や廃止に関しては、関係する係と横の連携を密にしなければ把握が困難なため、情報の共有やホウレンソウの徹底、それに伴う迅速な手続きが必要である。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 制度改正が行われる際には、業務に支障がないよう情報収集を徹底し、迅速に対応することが必要である。			



# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	266	青少年健全育成		
担当課	こども課	担当係	こども未来係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	4. 安心安全+idea	(5) 防犯・防災	① 安全なまちづくりの推進	
事業の概要	夏期研修や、少年の主張発表大会を行い、青少年の健全育成を図るとともに、青少年にとって有害な環境の浄化改善を図るため、地域環境の点検活動を実施し、社会環境の浄化と非行防止を強化する。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
町内の小中学生を対象とした夏期研修や少年の主張発表大会、小学生を対象にしたふれあい合宿やこどもの居場所づくり教室などを行った。				
業務開始年度	-			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	1,500	千円	1,293	千円
内 補助金等	0	千円	0	千円

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	コロナ禍を意識した開催方法を模索し、夏期研修では森林セラピーを楽しんだり、少年の主張発表大会では一般の入場を制限する代わりに開催動画をホームページにアップするなど工夫して計画どおりに事業を行うことができた。
事業の課題・問題点	コロナ禍での事業中止や縮小の影響もあり参加人数が以前と比較し少なかったため、より参加者が増え、青少年の健全育成に資する内容、参加者の輪を広げるような企画を検討することが必要。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 青少年健全育成にかかわる団体と協力連携し事業を継続する。			

## 令和4年度事務事業評価シート

### 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	267	消費生活相談業務		
担当課	住民課	担当係		
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	4. 安心安全+idea	(5) 防犯・防災	① 安全なまちづくりの推進	
事業の概要	専門の相談員を配置した消費生活相談窓口を設置し、町民の消費生活におけるトラブルの未然防止や早期解決に取り組む。			

### 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
毎週金曜日の午前9時30分から午後3時30分まで消費生活相談員による消費生活相談を実施した。毎月一回、消費生活相談コラムを広報に掲載し、情報提供及び注意喚起を行った。				
業務開始年度	平成17年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	836	千円	816	千円
内 補助金等	15	千円	15	千円

### 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	消費生活相談を39件(前年比+7件)行い、救済については15件で、救済額は246,375円となっている。
事業の課題・問題点	インターネットやスマートフォンの普及に伴い消費者の利便性が飛躍的に向上し、様々な商品やサービスが提供され便利になったが、一方で商品やサービスの販売方法が複雑かつ多様化しており、消費者がその取引に必要な知識や、契約条件を十分に理解することが困難になる等、消費者と事業者の間でのトラブルが増加している。

### 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針(課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 年々増加する多様な相談業務に対応する専門職員の配置が必要である。また、関係各課と情報共有を行い、連携を強化する必要がある。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	269	地域防災計画の見直し		
担当課	総務課		担当係	防災係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全+idea	(5) 防犯・防災		② 防犯体制の強化
事業の概要	防災計画を見直し、防災体制の充実を図る。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
基山町地域防災計画の見直しを行い、令和4年5月に基山町防災会議を開催し、了承後に改定した。				
業務開始年度	-			
		令和4年度(予算)	令和4年度(決算)	
総事業費	57 千円		34 千円	
	内 補助金等	0 千円		0 千円

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	防災活動の効果的な実施を図るため、町の対応すべき事務を中心として計画を定めており、災害対応時に活用する。
事業の課題・問題点	毎年大規模な自然災害が各地で発生しており、町としても大規模災害が発生した場合の対応を事前に定めておく必要があり、今後も避難のタイミングや、災害対応等を現状に合わせた地域防災計画に改定する必要がある。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 国の防災基本計画や佐賀県地域防災計画と整合性を保ち、計画の修正が必要な場合は、基山町防災会議で審議し、改定を行う。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	270	防災対策強化事業		
担当課	総務課	担当係	防災係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	4. 安心安全+idea	(5) 防犯・防災	② 防犯体制の強化	
事業の概要	防災行政無線の維持管理及び、電話による防災行政無線の放送内容を知らせるシステムの維持管理を行う。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
防災行政無線や防災に関するシステムの維持管理を行った。				
業務開始年度	-			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	1,400	千円	1,319	千円
	内 補助金等	0	千円	0

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	防災情報伝達手段として、防災行政無線や電話連絡システム等の新設や維持管理を行う。
事業の課題・問題点	防災情報伝達手段として、防災行政無線や電話連絡システム、エリアメール等を活用して住民の方に防災情報をお知らせしているが、今後も住環境に合わせた防災情報伝達手段を検討していく。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 今後も防災情報を住民の方に提供していく為に、防災行政無線の維持管理や、システムの更新等を行っていく。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	271	非常備消防費事業		
担当課	総務課		担当係	防災係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全+idea	(5) 防犯・防災		② 防犯体制の強化
事業の概要	火災や災害時などに出動する、消防団の運営費。消防団員確保対策や、消防車両等の維持管理、自主防災組織への支援を行う。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
消防団員確保対策として団員勧誘員を7月に8名任命し、勧誘活動を開始、次年度団員確保に一定の効果があった。消防車両の車検、6ヶ月点検、12ヶ月点検を順次実施した。佐賀県主催の地域防災リーダー養成講座に3名派遣すると共に、基山町自主防災組織リーダー研修会を実施した。基山町消防団の模擬火災訓練では、秋に8部管内、春は9部管内で実施した。				
業務開始年度	-			
		令和4年度(予算)	令和4年度(決算)	
総事業費	17,730		14,908	
	千円		千円	
内 補助金等	0		0	
	千円		千円	

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	消防団による火災現場での消火活動や、水害等での土のう積み活動の他、消防定例日等において広報活動を行うことで、町民の財産が守られている。また、日頃から模擬火災訓練をすることで、消防技術の向上を図った。全ての自主防災会ではないが、自主的に防災研修や避難訓練を実施し、避難行動要支援者の把握や支援計画作成につながった。
事業の課題・問題点	消防団員の確保や、地元企業に勤めている団員が少ないため、昼間の災害出動人員不足が課題となっている。全ての自主防災会が何らかの活動に取り組めるよう支援する必要がある。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針(課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 消防団員の確保や、昼間の人員不足については、支援団員制度を活用する他、団員勧誘員の活動の浸透を図りながら、今後も団員確保に向け、検討していく。 自主防災会に対するソフト面とハード面での支援に加え、自主防災会活動マニュアルや自主防災会による避難所運営マニュアルを配布し、地域の実情に合わせた防災対策に取り組んでいただけるよう支援する必要がある。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	272	常備消防費事業		
担当課	総務課		担当係	防災係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全+idea	(5) 防犯・防災		② 防犯体制の強化
事業の概要	鳥栖・三養基地区広域消防の運営費負担金及び佐賀県防災航空隊負担金			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容			
鳥栖・三養基地区消防事務組合基山分署においては、町内の救急出動や火災等の消火活動を行った。また、基山町消防団と連携した火災防御訓練や、教養訓練等で指導を受けた。消防防災ヘリコプターは本格活動を開始し、県内ほぼ全域を15分以内で結び、防災訓練等災害予防活動を行った。			
業務開始年度	-		
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)
総事業費	239,305	千円	239,281 千円
内 補助金等	0	千円	0 千円

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	緊急車両の共有により、多種多様な車両が配備され、現場に応じて対応ができる。
事業の課題・問題点	鳥栖三養基地区において、大規模災害が発生した場合の対応。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 鳥栖・三養基消防事務組合基山分署と、基山町消防団において今後も様々な災害を想定した訓練を行っていく。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	273	消火栓更新事業		
担当課	総務課		担当係	防災係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全+idea	(5) 防犯・防災		② 防犯体制の強化
事業の概要	耐用年数を経過した老朽消火栓を計画的に更新する。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
老朽化した消火栓3基を不断水工法により更新した。 旭町立立交差内にある157番消火栓について、走行するトラック等による荷重により蓋が破損、関係機関とも協議し、近隣の水利の状況等も考慮した上で廃止した。				
業務開始年度	-			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	7,194	千円	5,988	千円
	内 補助金等	0	千円	0

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	消火活動に消火栓は欠かすことのできないインフラであり、定期的な更新による維持管理により、暮らしの安心と安全に貢献できた。
事業の課題・問題点	特に課題や問題点といった事項はないが、耐用年数等の詳細な基準があれば、それに従い更新計画を立てることができる。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 今後も、器具等長寿命化を図りつつ、適切に維持管理していく。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	275	公園維持管理事業		
担当課	建設課		担当係	整備・管理係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全+idea	(5) 防犯・防災		② 防犯体制の強化
事業の概要	公園の清掃等維持管理を行う。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
業務委託により都市公園(伊勢前児童公園、若宮児童公園、玉虫児童公園、氏林児童公園、猪ノ浦児童公園、向田児童公園、中央公園、北部公園、黒谷緑地、総合公園の草刈り)の草刈り、清掃、総合公園の浄化槽保守点検、貯留槽保守点検、遊具点検を行った。				
業務開始年度	令和4年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	2,023	千円	2,023	千円
	内 補助金等	0	千円	0

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	業務委託により適切な管理を行うことができた。
事業の課題・問題点	草刈りの回数が年2回となっているが、草刈り計画のない8月半ばに繁茂し、個別で草刈りを行っているという課題がある。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針(課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 草刈りの回数を見直しを行う必要がある。			



# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	283	多文化共生推進事業		
担当課	まちづくり課	担当係	協働推進係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	5. 協働+idea	(1) まちの結束	② まちづくりのネットワークの強化	
事業の概要	基山町主催の日本語教室を中心に、外国人と日本人が共に安心して生活できる環境整備、相互理解を進め、誰もが住みやすく活躍できる多文化共生社会の実現を推進する。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容			
多言語ゴミ出しカレンダー(英語・ベトナム語・やさしい日本語)を作成した。 また、イベントの中で外国人の方々とコミュニケーションを図るためのレクリエーションを実施した。			
業務開始年度	平成29年度		
	令和4年度(予算)	令和4年度(決算)	
総事業費	34 千円	18	千円
内 補助金等	0 千円	0	千円

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	多言語ゴミ出しカレンダーについては、町内在住外国人の方々にゴミ出しのルール等を周知した。 レクリエーションについては、外国人の方々と参加者の間で楽しくコミュニケーションを図ることができた。
事業の課題・問題点	ゴミ出しカレンダーは、言語の種類を増やしていくことが、今後必要となる。 日本語教室等の外国人やボランティアの参加者を増やす。 多文化共生についての周知(職員や町民に向けて)。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 多文化共生社会の周知と共に日本語教室を中心として、外国人と日本人が共に安心して生活できる多文化共生社会の推進を進める。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	290	都市計画図及び道路台帳図のデジタル化及び公開型GISの整備		
担当課	定住促進課、建設課	担当係	都市計画係、整備・管理係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	5. 協働+idea	(3) 情報公開	① 開かれた情報公開	
事業の概要	アナログ図面で管理している基山町全図(地形図)、都市計画図、道路台帳図をデジタル化し、庁内さまざまな部署で活用する基盤地図とするほか、庁外への都市計画図データ公開のみならず、3D都市モデルへの活用による住民合意の促進やまちづくりイメージの共有に役立てる。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
本町が保有する紙台帳で管理されている基山町全図、都市計画図及び道路台帳図の電子化を行い、庁内さまざまな部署で活用する基盤地図とし、庁内各課で利用する統合型GISを構築した。加えて住民公開型GISを導入して、ホームページ上で公開した。				
業務開始年度	令和4年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	51,079	千円	51,079	千円
	内 補助金等	50,014	千円	50,014

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	基山町全図を基にした基盤地図を電子化し、統合型GISを構築することで、ごみ集積所マップやこども110番の家マップ等、各課で紙による管理をしていた地図を基盤地図に落とし込んで、電子化することで更新等が容易になり、業務の簡素化及び効率化につながった。 また、住民公開型GISをととして道路台帳図・都市計画図・ハザードマップ・消火栓位置図など町ホームページ上に公表したことで、これまでは役場に来庁し確認する必要があった情報が自宅等のパソコンで確認でき、町民サービスの向上及び窓口閲覧等における問合せ時間や来庁機会などの負担の軽減につながった。
事業の課題・問題点	各課で利用可能な統合型GISを構築したが、下水道事業認可区域図や文化財包蔵地位位置図など基盤地図に反映させることができていない情報がある。また、住民への十分な制度周知が出来ていない。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	完了
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	<p>【第1次評価】 職員への統合型GISの利用方法周知や、住民への住民公開型GISの制度や使い方の周知が今後も必要である。今後、統合型GISのシステム改修とあわせて、基盤地図に反映させることができていない情報を実装させることを検討する。 また、3D都市モデルの構築については、必要性も含めて引き続き導入を検討していく。</p> <p>【第2次評価】 都市計画図及び道路台帳図のデジタル化及び公開GISの整備が完了した。</p>			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	291	出前講座の充実		
担当課	総務課	担当係	文書法令係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	5. 協働+idea	(3) 情報公開	① 開かれた情報公開	
事業の概要	町政についての理解と協力を得るため、出前講座を行う。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
令和4年度は、29件の出前講座を行い、833名の参加者があった。				
業務開始年度	-			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	0	千円	0	千円
内 補助金等	0	千円	0	千円

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	年々開催件数、参加者とも増えており、制度の周知が図られていたが、コロナ禍で令和2~4年度は開催件数が減少した。 高齢者に関する福祉、防災及び交通安全に関する項目の講座が特に人気がある。
事業の課題・問題点	開催を希望されるテーマが一部に集中しているため、また、時間外や休日開催の講座も多く、講師を担当する職員の負担が増大している。 約80項目のテーマがあるが、随時町民のニーズに合ったものに改善していくとともに、町民に分かりやすい内容にしていく必要がある。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 希望されるテーマの傾向、実施しているアンケートの内容を分析し、町民のニーズを研究していく。 コロナ禍で減少した開催件数の回復状況について分析及び対応策について検討していく。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	295	庁用自動車更新事業		
担当課	財政課	担当係	財産管理係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	5. 協働+idea	(4) 行財政	① 安定した行財政運営	
事業の概要	庁用車の計画的な更新を行う。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容			
令和3年度に策定した「基山町庁用車更新計画」に基づき、更新対象予定車が令和4年度は2台あったが、使用状態が良かったため更新は行わず継続することとした。			
業務開始年度	-		
	令和4年度(予算)	令和4年度(決算)	
総事業費	0 千円	0	千円
内 補助金等	0 千円	0	千円

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	更新せずに継続したため、財政支出は抑えることができた。
事業の課題・問題点	庁用車の2台継続の影響や電気自動車等への切替え検討など、計画の一部見直しが必要である。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 今後も「庁用車更新計画」に基づき、適正な更新を行っていく。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	296	議会タブレット導入事業		
担当課	議会事務局		担当係	庶務係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	5. 協働+idea	(4) 行財政		① 安定した行財政運営
事業の概要	議会にタブレット機器を導入することにより、ペーパーレス化、業務の効率化を図る。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容			
定例会及び全員協議会、各委員会の資料や各議員への通知等、タブレットのみで運用を行った。			
業務開始年度	令和2年度		
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)
総事業費	1,379	千円	1,379 千円
内 補助金等	0	千円	0 千円

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	ペーパーレス化することで、議案等(各資料や通知文、議案等の差替え文書)は紙書類で送付しなくてよくなるため、印刷事務や送付事務が省け、事務の簡素化効率化につながった。 また、文書検索の向上、保存管理の効率化も図れる。各議員においても、情報の管理・検索が容易となった。
事業の課題・問題点	本会議の議案等については既存のペーパーで送付されるため、データ化する際に間違いがないような対応が必要となる。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	完了
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価】 送付された議案等については、データ(PDF)化及びデータ化された資料の格納、表示の確認や編集を行い、別の職員が紙資料との照合を行っており、今後も議会運営に支障がないような体制を継続して行っていく。 【第2次評価】 議会用タブレットの導入は完了した。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	304	有料広告募集事業		
担当課	財政課		担当係	財政係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	5. 協働+idea	(4) 行財政	① 安定した行財政運営	
事業の概要	町が保有する資産の遊休スペース、発行物及び作成する書類等に広告を募集し、自主財源の確保を目指す。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
令和4年度の有料広告については、広報きやま広告、基山町ホームページ バナー広告、基山町立図書館 雑誌カバー広告、企業の技術・商品等紹介コーナー展示広告という広告媒体への募集を行った。また、新たな広告媒体として住民課カウンター下、庁舎内エレベーターへの広告募集を行い、2事業者からの申込みをいただいた。				
業務開始年度	平成17年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	1,584	千円	1,452	千円
	内 補助金等	0	千円	0

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	令和4年度の広告料収入として、1,452千円の収入があり、自主財源の確保につながった。
事業の課題・問題点	新たな広告媒体の開発が必要である。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 引き続き新たな広告媒体の開発を行っていく予定である。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	305	町税徴収率の向上		
担当課	税務課		担当係	徴収係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	5. 協働+idea	(4) 行財政		① 安定した行財政運営
事業の概要	課税客体的確な把握と、徴収率の向上に努める。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
口座振替による納付の推進を行う。コンビニエンスストアでの納付、オンライン決済サービスによる納付、地方税共通納税システムの導入など、納付方法の利便性を向上させる。令和5年度から始まる地方税共通納税システム税目拡大及び統一QRコード活用対応のためにシステム改修を行った。 滞納者に対して、督促状・催告書の発送、納税相談、財産調査、差押等により効果的な滞納整理を実施する。				
業務開始年度	-			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	7,241	千円	7,051	千円
	内 補助金等	0	千円	0

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	計画的な文書催告、納税相談等の滞納整理事務を適切に行ったことにより、現年課税分及び滞納繰越分の徴収率は、前年度より0.1%減で、県税への職員派遣がなかったものの前年度と同程度で推移した。
事業の課題・問題点	当初賦課や確定申告時は特に徴収以外の業務が多忙となるため、滞納整理業務が円滑に実施できるよう計画的な進行管理を努めていく必要がある。納期限内納付の啓発を積極的に行い、滞納者への滞納整理事務を佐賀県税務所とも連携して取り組み、自主財源の確保及び滞納繰越額の減少に努めていく必要がある。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 税負担の公平性確保は重要である。税務調査等により滞納者の担税力を把握し、早期に滞納整理事務に取組み、滞納の早期解消に努める。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	307	企業版ふるさと納税事業		
担当課	企画政策課		担当係	総合計画推進係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	5. 協働+idea	(4) 行財政	① 安定した行財政運営	
事業の概要	企業版ふるさと納税ポータルサイトサービスを活用し、企業からの寄附を広く募ることにより、事業の拡大を行い自主財源の確保を図る。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
令和4年度は支援サービスを3社利用し、寄附の促進を図った。サービスの利用により、事業を紹介するパンフレットの作成、パンフレットを活用した寄附案内の勧奨等を実施した。また、企業版ふるさと納税を活用するプロジェクトの見直しを行い、事業縮小による1プロジェクトを廃止、新たに3プロジェクトを追加した。				
業務開始年度	平成29年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	583	千円	495	千円
	内 補助金等	0	千円	0

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	支援サービスを利用するとサービス利用料(寄附額の10%または20%)が必要となるが、寄附実績件数が増加した。(令和3年度:4件・1,700千円、令和4年度:12件・5,700千円)また、新たな企業からの寄附に繋がった。追加したプロジェクトに9件の寄附があった。
事業の課題・問題点	企業版ふるさと納税を活用するプロジェクトや寄附後のベネフィット等の見直しにより、新たな寄附に繋げる必要がある。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針(課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 企業版ふるさと納税支援サービス事業者を増やすことで、より多くの企業に対してアプローチできるようになっている。税額控除の特例が令和6年度までとなっているため、令和6年は企業版ふるさと納税が増加すると思われる、サービス事業者に対してさらなるテコ入れが必要。自主財源の確保に有効な手段なため事業継続を行う。			



# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	312	地域イントラネット基盤施設整備事業		
担当課	企画政策課	担当係	広報・情報管理係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	5. 協働+idea	(4) 行財政	① 安定した行財政運営	
事業の概要	庁内ネットワークの利用に係る経費やセキュリティ対策並びに各種システムサーバの維持・管理を行う。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
庁内ネットワークとしてのイントラネットに加えて、本庁外からのイントラネット接続(小中学校・図書館など)を光ケーブルで行っている。この接続を安定的に維持管理を行う。				
業務開始年度	-			
		令和4年度(予算)	令和4年度(決算)	
総事業費	3,534	千円	3,534	千円
	内 補助金等	0	千円	0

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	本庁内のみならず、遠隔地(小中学校など)から円滑にイントラネット(本庁ネットワーク)に接続できる。
事業の課題・問題点	現在まで、事故(通信不能)は発生しておらず、特に課題や問題点は無い。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 経年による機器やシステムの不具合により、業務に支障がでることがないように、早めのメンテナンスや更新に留意する。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	313	社会保障・税番号制度に伴う基幹系システム改修事業		
担当課	企画政策課		担当係	広報・情報管理係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	5. 協働+idea	(4) 行財政	① 安定した行財政運営	
事業の概要	社会保障・税制度の効率性、透明性を高め、住民にとって利便性の高い公平・公正なシステムを運用する。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容			
中間サーバーを介しての情報提供ネットワークシステムを使用した情報連携を行った。			
業務開始年度	-		
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)
総事業費	3,101	千円	3,101 千円
	内 補助金等	0 千円	0 千円

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	社会保障・税番号制度が支障なく運用できている。
事業の課題・問題点	マイナンバーに関するサービスは拡大しており、安定したサービス提供のために、今後も堅実なシステム運用を行う必要がある。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 経年による機器やシステムの不具合により、業務に支障がでることがないように、早めのメンテナンスや更新に留意する。また、国の制度改正などが頻繁に行われるため、情報取得に注力し、早めに対応できるように努める。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	314	基幹系システム事業		
担当課	企画政策課	担当係	広報・情報管理係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	5. 協働+idea	(4) 行財政	① 安定した行財政運営	
事業の概要	住民票等の住民記録、税務処理等の業務を共同アウトソーシングで利用することにより、コストの削減を図り、住民サービスの向上や事務処理の効率化を図る。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
前年度より引き続き、1市4町による自治体クラウドでの基幹系システム利用を行った。 またシステム標準化のための準備作業を行った。				
業務開始年度	-			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	55,295	千円	55,292	千円
	内 補助金等	0	千円	0

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	基幹系システムの利用は支障なく安定的に行えた。
事業の課題・問題点	基幹系システムは今後システムの標準化に伴い、ガバメントクラウドに移行する。業務に影響が無いように支障なく移行作業を行う必要がある。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 経年による機器やシステムの不具合により、業務に支障がでることがないように、早めのメンテナンスや更新に留意する。また、国の制度改正などが頻繁に行われるため、情報取得に注力し、早めに対応できるように努める。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	327	個人番号カードの交付		
担当課	住民課		担当係	住民係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	5. 協働+idea	(4) 行財政	① 安定した行財政運営	
事業の概要	個人番号法(マイナンバー制度)の導入に伴う、個人番号カード・通知カードの交付事務を実施する。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
・マイナンバーカードの普及のため、きのくに祭り及びふれあいフェスタにおいて申請補助を行いカード取得率の向上に努めた。また、各区のサロン等に出向きマイナンバーカードの広報活動を行った。 ・平日にマイナンバーカードを受取りに来られない住民の方に対し、第2・第4火曜日と土曜日に時間外交付(火曜日は19:00まで、土曜日は午前中)を行い、マイナンバーカードの交付率の向上を行った。また、マイナポイントの申込み支援も実施し繁忙期は土曜日・日曜日に終日時間外交付を行い、カードの交付に努めた。				
業務開始年度	平成27年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	1,140	千円	1,140	千円
	内 補助金等	1,140	千円	1,140

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	・令和4年度のマイナンバーカードの交付枚数について、2,500枚を目標としていたが、4,800枚の交付を行うことができ目標を達成することができた。 ・イベントや時間外でのマイナンバーカード申請補助をすることにより、住民の方のマイナンバーカード取得の向上を図ることができた。
事業の課題・問題点	・今後マイナンバーカードが保険証や様々な制度と紐づけられることが予想されるため、マイナンバーカードを受取りに来ていない方に対して交付に来ていただくよう働きかけを行う必要がある。 ・マイナンバーカードを取得することに不安を持っている方がいる。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針(課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 今後も継続して、マイナンバーカードの受取りについて取りにきていただくよう、案内を行う。また、マイナンバーカードを申請したが、マイナンバーカードの安全性を不安視する方に対して、説明を行い交付事務を円滑に行えるよう努めたい。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	329	職員研修事業		
担当課	総務課		担当係	給与係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	5. 協働+idea	(4) 行財政	① 安定した行財政運営	
事業の概要	他団体の派遣研修や政策形成研修などを通して個々の能力向上と人脈形成を図る。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
国への派遣は、令和3年度から引き続き農林水産省へ職員を派遣し、本町の産業振興課へ同省から職員を受け入れた。県への派遣は、令和4年度は佐賀県の市町村職員実務研修制度を活用し、さが創生推進課へ派遣を行った。その他令和3年度から引き続き小郡市との人事交流を行い、相互に職員を派遣している。また、市町振興協会が主催する研修を活用し、新規採用職員等への研修を行った。				
業務開始年度	昭和26年			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	1,001	千円	540	千円
	内 補助金等	0	千円	8

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	人事交流を行うことで、地方公共団体とは異なるスキルやより大きな視点での事業の捉え方などを気づくことができている。また、継続して交流を行うことで、派遣ノウハウも蓄積され、連携の強化にもつながっている。職員を受け入れる側としても、仕事への姿勢等優れた職務能力の職員と身近に接することができ刺激とともに手本となっている。
事業の課題・問題点	人事交流については国だけでなく、県や近隣市への派遣の実績が増えてきている。引き続き、そこで得た経験・人脈を本町の行政運営に生かしていくことが必要。職員の役職や年齢、勤続年数など基準に行う階層別研修の参加については、WEB研修等も利用し研修の機会を確保することが必要である。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 研修の機会の提供に努めるとともに、研修レベルの向上、研修内容の充実を計画的に図ること。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	330	自己申告制度の実施		
担当課	総務課		担当係	行政係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	5. 協働+idea	(4) 行財政		① 安定した行財政運営
事業の概要	職員の現在の職務内容、困難度や異動に関する希望などを自己申告させることにより、本人が担当する業務の振り返りやスキルアップを考えるための契機とするとともに、任命権者が希望配属先を把握することにより、適材適所の人員配置につなげることを目的に実施する。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
主幹以下の全職員(再任用職員含む)に通知し、137人中128人の提出があり人事異動の参考とした。				
業務開始年度	平成18年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	0	千円	0	千円
	内 補助金等	0	千円	0

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	任命権者が職員の配属希望先、その他の勤務に関する事項等を把握することができたため、人事異動や勤務における配慮など、職員のモチベーションの向上につなげることができた。
事業の課題・問題点	職員の希望の全てを考慮することは困難であるため、職員の希望に沿えない場合がある。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 職員の現在の職務の状況や異動に関する希望等を把握することができ、人事異動の判断となる貴重な制度となっているので、今後も継続して実施していく。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	333	基山町教育大綱策定事業		
担当課	企画政策課		担当係	総合計画推進係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	5. 協働+idea	(4) 行財政	② 町民満足度の高い行政運営	
事業の概要	基山町総合教育会議を設置し、4年を計画期間とした基山町教育大綱の策定等を行う(令和4年度に基山町教育大綱(第3期)の策定を行う。)			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
基山町教育大綱第3期(令和5年度から令和8年度まで)の策定に向け、4月と1月に基山町総合教育会議を開催し、大綱案について議論した。令和5年度に策定予定の国の教育振興基本計画、佐賀県の教育大綱の策定後すぐに、基山町教育大綱が策定できるよう、教育振興基本計画や佐賀県教育大綱の案の情報収集や基山町独自の教育施策の議論を行った。				
業務開始年度	平成27年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	0	千円	0	千円
	内 補助金等	0	千円	0

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	総合教育会議は、町長と教育委員会が教育政策について議論することを目的として設定しており、基山町教育大綱第3期の策定に向け開催することができた。会議では、町長の提案と教育委員会から提案された内容を議論し、基山町教育大綱第3期(案)の策定を行った。
事業の課題・問題点	令和5年度に策定予定の国の教育振興基本計画、佐賀県の教育大綱の進捗状況を注視する必要がある。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	完了	第2次評価	継続
今後の取組方針(課題に対する改善等)	【第1次評価】 基山町教育大綱第3期の策定を行い、令和5年11月に公表した。 令和5年11月現在、佐賀県の教育大綱が策定・公表がされていないため、その動向を注視し、必要に応じて基山町教育大綱第3期との整合性を確認していくこと。  【第2次評価】 令和4年度は策定作業中のため継続とする。			

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	334	総合計画推進事業		
担当課	企画政策課	担当係	総合計画推進係	
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	5. 協働+idea	(4) 行財政	② 町民満足度の高い行政運営	
事業の概要	総合計画の執行状況チェックし、着実な計画運営を図る。また、3年を計画期間とした実施計画を毎年度策定する。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
第5次基山町総合計画基本計画に示した施策への具体的な取組や実施期間を明らかにした短期的な計画である実施計画(令和5~7年度)について、3月に策定した。また、見やすく、分かりやすい実施計画となるよう様式を変更した。				
業務開始年度	-			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	0	千円	0	千円
内 補助金等	0	千円	0	千円

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	実施計画を策定することにより、第5次基山町総合計画の基本計画に示した施策の具体的な取組や実施期間、予算編成を見直すことができ、事務事業を効率的に実施できている。
事業の課題・問題点	実施計画に掲載する新規事業の必要性等について確認するヒアリングについて、実施時期、方法の見直しを検討する。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 町民がわかりやすい実施計画となるように様式を変更するなど、担当者の創意工夫が見られた。 今後、事務事業ヒアリングの見直しや計画策定作業の効率化を図り、各担当課の業務効率化を図ることとする。			



# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	337	上水道施設事業		
担当課	建設課		担当係	上下水道係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系	具体的な施策	
	5. 協働+idea	(4) 行財政	③ 効果的な広域行政の推進	
事業の概要	佐賀県東部地区の市町で構成する、佐賀東部水道企業団に対する用水負担金。大字長野の一部に係る鳥栖市上水道施設整備負担金。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和4年度に実施した取組内容				
佐賀東部水道企業団及び鳥栖市上下水道局と連携を図り、用水供給及び水道事業を実施した。				
業務開始年度	平成13年度			
	令和4年度(予算)		令和4年度(決算)	
総事業費	795	千円	795	千円
内 補助金等	0	千円	0	千円

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	適切に事業を実施した。
事業の課題・問題点	用水負担金については、佐賀東部水道企業団の構成市町で整備費を負担しているが、現在施設の耐震化等の事業が進んでおり、今後負担増が予想されるため、平準化した負担になるように佐賀東部水道企業団と調整を図る必要がある。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 安定的な事業継続の確保のため佐賀東部水道企業団と緊密に連携を行っていく			